

咬合系歯科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] オーバーデンチャー支台歯に装着したポストに依る維持を求めないコーピングの予後に関する研究

[研究機関] 北海道大学病院咬合系歯科

[研究責任者] 齋藤 正恭 （歯学研究科口腔機能補綴学教室・准教授）

[研究の目的]

入れ歯の下に残した歯根の上には、虫歯を防止するなどのために金属のキャップをかぶせます。このキャップや歯根がその後どのような状態になっているかを調べることを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

- ・北海道大学病院咬合系歯科で入れ歯の下に残した歯根の上に、金属のキャップを装着した方
- ・平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日に受診された方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、口腔内所見（欠損部位、欠損歯数、残存歯の状況）、支台歯^{注1)}の状態、築造^{注2)}・コーピング^{注3)}の種類や形態、補綴方法、対顎の状態、支台歯の転帰（例：歯を抜いた、コーピングを作りかえたなど）

注1) 入れ歯の下に残した歯根のこと

注2) 金属のキャップを被せるために歯根に取り付けた土台のこと

注3) 歯根に被せる金属のキャップのこと

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院咬合系歯科

担当歯科医師 齋藤 正恭・野川 敏史

電話 011-706-4346